

兵庫県で唯一伝統構法の認可を受けている工務店が、 木造家屋の解体工事に新規参入

～新規事業で伝統技術と先人の知恵・想いを継承～

兵庫県神崎郡福崎町にある大正5年創業の尾上組（おのうえぐみ）有限会社（代表取締役 尾上結希（おのうえゆうき））は、来年春頃より播磨地域を対象に木造建築工事（伝統構法）の知識と技術を活かして、木造住宅（特に古民家）に特化した解体工事業を手掛けていきます。解体にあたっては、単に潰すのではなく、利用価値のある木材（良質古材）を選別して、その木材を毀損することなく効率よく解体します。解体費用は30,000円/坪が相場です。また、「建て替え」時の既存住宅の解体の場合には、解体前に「再利用可能な木材」を提案して、解体するとともに、再利用可能な木材を次の建築への活用や良い古材が摘出できた場合には買取も致します。

通常、住宅は一世代で建て替えられることが一般的ですが、それでは木材が無駄になります。解体工事で発生した木材が産業廃棄物の中間処理場に運ばれて焼却されていく現状は深く考えさせられるものがあります。私たち伝統大工が解体工事を請け負うことで「まだまだ使える古材を復活させられるのに」という想いから木造家屋の解体業に参入することを決意しました。通常はごみ（産業廃棄物）になってしまう木材を活用することで、先人から受け継いだ建築物の「想い」を未来につなぎます。

当社は創業105年目を迎え、創業当時の伝統的な建築構法で現在も住宅建設に携わっています。プレカット材を使用せず、材木に加工寸法を「墨打ち」し、「刻み（鑿（のみ）、鋸（のこ）、鉋（かんな）等を使用）」を入れて組み上げ（構造に金具を使用しない）、壁は竹を編んだ骨組みに荒壁土を施工するいわゆる「日本古来の伝統構法」を行っております。これまで伝承されてきた先人の知恵や技術を後世に受け継ぐことを使命と考えており、環境に配慮したごみを残さない世の中の実現を目指し、次の100年後を見据えて事業をおこなっています。

この度は伝統構法を活かした木造家屋の解体工事への進出を多くの方にお伝えしたいと思い、リリースさせていただきました。宜しくお取り計らいのほど、お願い致します。

尾上組有限会社ホームページ

<http://onoue-house.com>

【このリリースに関するお問い合わせ】

尾上組有限会社

〒679-2201

兵庫県神崎郡福崎町大貫2116-3

TEL. 0790-22-6577

Mail. info@onoue-house.com

担当：尾上 結希（おのうえ ゆうき）